

AI駆動開発研修プログラム

株式会社アイディーエス



- Solution Provider
- Amazon Redshift Delivery
- Amazon QuickSight Delivery

- Well-Architected Partner Program
- Digital Workplace Services Competency

株式会社アイディーエス:会社概要

商号	株式会社アイディーエス
設立	1996年12月13日
代表者	代表取締役社長 中野 貴志
資本金	10百万円
売上高	4,520百万円(2025年6月実績)
従業員数	170名(2025年6月末時点)
主要事業	システムインテグレーション AWS総合支援サービス エンジニア派遣サービス ベトナムオフショア開発サービス 自社クラウドサービス開発・運営
拠点	本社

〒105-0014 東京都港区芝2-3-18 YM芝公園ビル5階

IDS Vietnam

Floor 4, NTA Building, 171-173 Dien Bien Phu Street,

Da Kao Ward, District 1, Ho Chi Minh City



事業内容一覧

ソリューション事業部



新規システム検討から開発
AIやデータ活用まで幅広い対応

システムインテグレーション

受託開発・一括請負型

業務システム開発
Webアプリケーション開発
データ活用・データ基盤構築

運用保守

継続的保守開発
アプリケーション保守
インフラ運用
メンテナンス

AWS運用保守・コスト最適化

自社サービス



マスタメンテナンスの
クラウドサービスでコスト削減

次世代システム
開発ツールの
クラウド
サービス提供

AWS総合支援

AWS環境構築
AWS移行
構成監査
(WA-Check)

サニーペイ事業部



請求代行をメインに
AWSの利用拡大を支援

AWS請求代行 (リセール)

請求代行

利用拡大支援

全利用料が5%割引
請求書で日本円払い
ROOT権限も利用可
AWS保険が無料付帯

プロフェッショナル サービス事業部

派遣契約による
開発、運用支援

常駐型システム エンジニアリング

派遣契約

PMO

設計
開発
運用
保守
テスト
キitting
サポート

AWS
環境構築・運用保守

スマラボ事業部



ベトナムのオフショア
によるシステム開発支援

オフショア ラボ型開発

プロジェクト
コーディネート

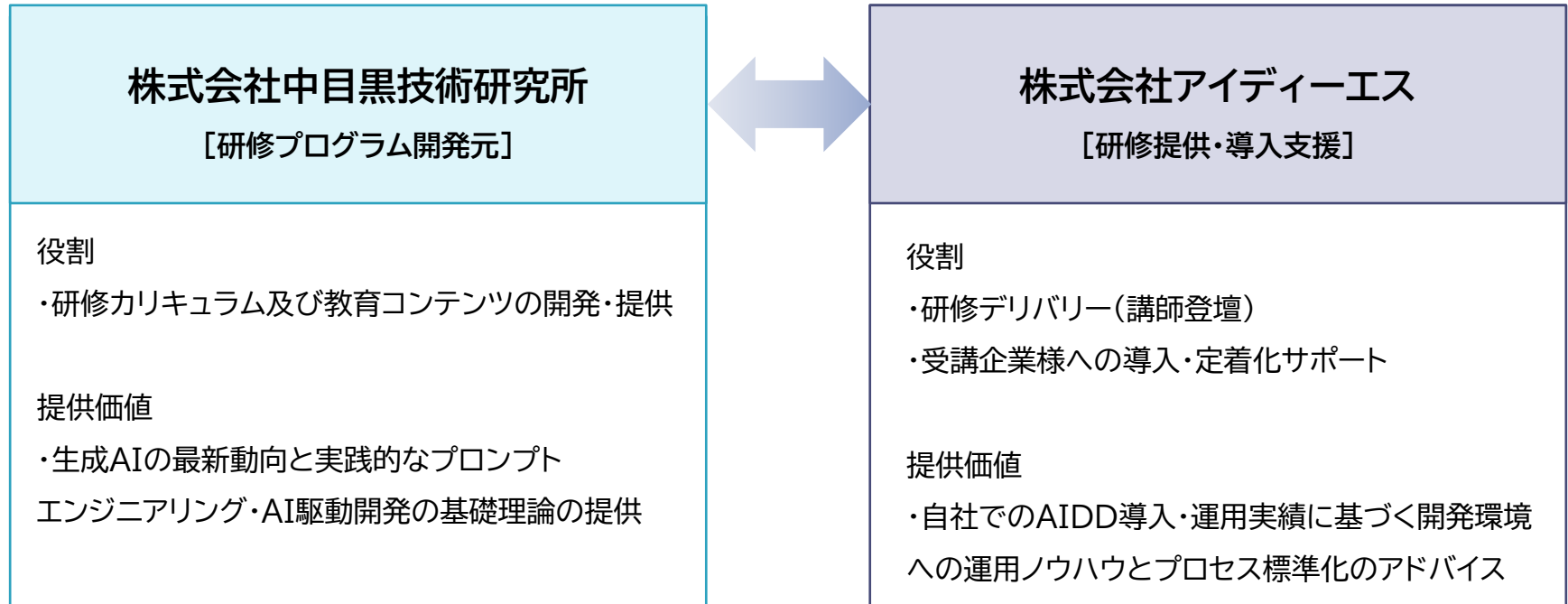
IDS Vietnam

開発チーム提供

AWS
環境構築

本研修の提供体制について

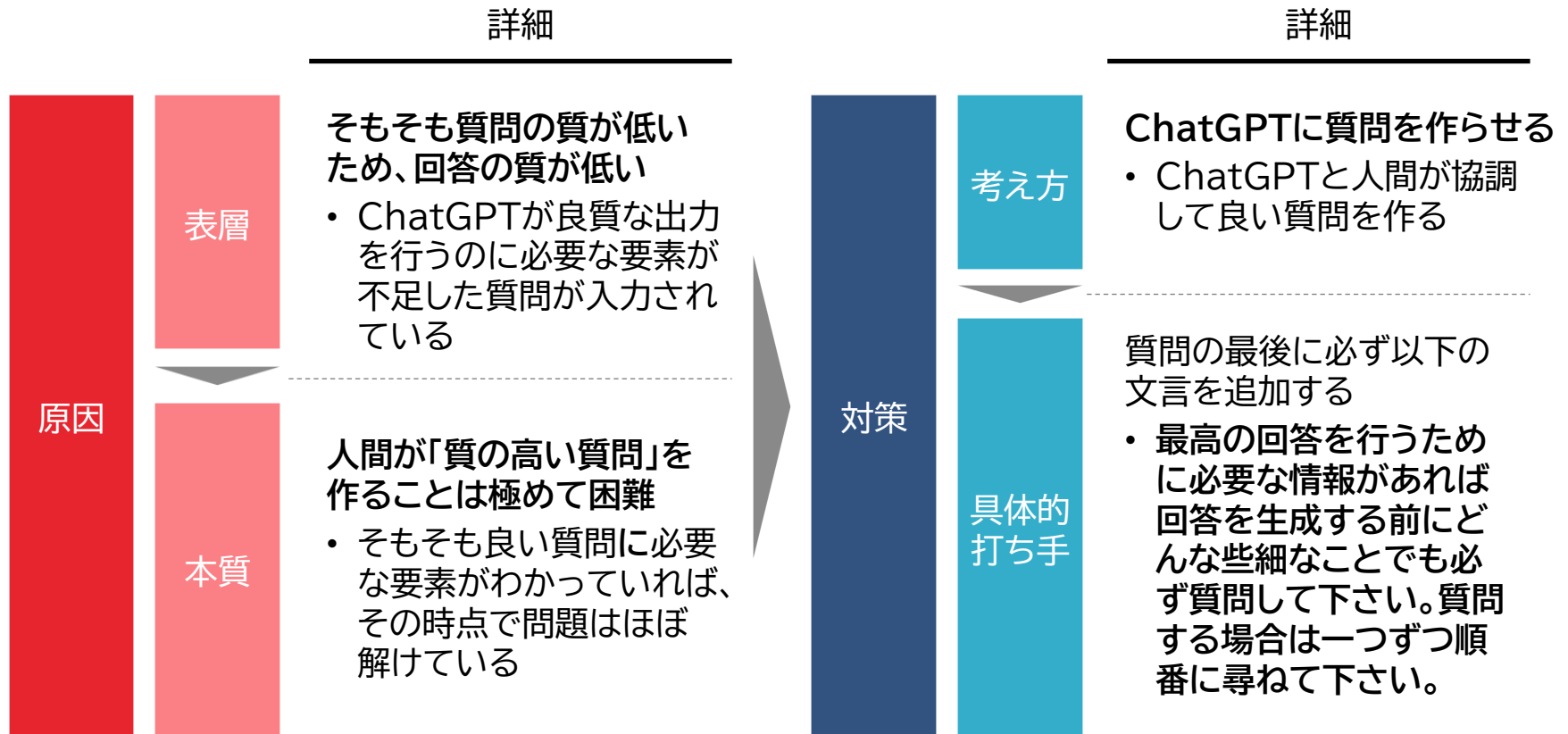
本プログラムは、株式会社中目黒技術研究所が開発した生成AI研修カリキュラムをベースに、自社において「AI駆動開発(AIDD)」の標準化を実践している株式会社アイディーエスが、講師登壇およびその後の導入支援を担う協業体制にてご提供いたします。



本研修では、高品質なカリキュラムによる技術習得をベースとしながら、AIを実務へ組み込む際の課題や工夫について、弊社の実体験をもとにアドバイスいたします。受講後のスムーズなAI活用開始を、現場のエンジニア目線でサポートします。

ChatGPT利用上のよくある悩み

使ってみてはいるが、出力結果の品質が今ひとつで、結果として業務等にて積極的に活用できていない



当社で利用しているAI駆動開発ツールのご紹介

当社では最先端のAI駆動開発ツールを駆使して開発生産性を3~10倍程度に飛躍的に改善



	Cursor (カーソル)	GitHub Copilot
概要	Visual Studio Code (VSCode) をベースとしたAI駆動開発コードエディタ	AI駆動開発支援プラグイン
特長	<p>コード自動生成機能「Cursor Agent」</p> <ul style="list-style-type: none"> コードベース全体の文脈を把握しつつ複数のファイルの変更やコマンドを続けて実行(エンドツーエンド) 	<ul style="list-style-type: none"> 複数のIDEに対応 (VSCodeだけでなく、Eclipse, JetBrains, Visual Studio等に対応) Agentモードも存在
提供元	<p>AnySphere社</p> <ul style="list-style-type: none"> 2022年創立 企業評価額99億ドル 	<p>GitHub社</p> <ul style="list-style-type: none"> Microsoft傘下
導入企業	Samsung, Shopify, OpenAI etc...	NTTデータ, 日立製作所, 富士通 etc...
価格体系	<ul style="list-style-type: none"> 無料: 2週間トライアルと有限利用 \$20/月: 無制限利用可能 	<ul style="list-style-type: none"> 無料: 有限利用 \$10/月: 無制限利用可能

概要

大手SIerはすでにAI駆動開発ツールの前提の開発標準の策定に舵を切っており、「AI駆動開発ツールを使えないプログラマ」の需要は確実に縮小する一方で、「使いこなせる人材」の需要は拡大していく見込み

社名

詳細

NTT
データ



- 既に2000人超がCopilotを本番利用し開発効率向上を実証
- 25年度までに国内5000ライセンス導入予定=Copilot前提の開発体制へ移行中

日立
製作所



- グループ内で既に2500人超が利用、5000人体制へ拡大中でCopilotスキルが標準化しつつある
- 日立は生成AIセンター軸にCopilot全社展開で開発30%生産性向上を狙う

富士通



- 約2400人がCopilot活用し20%以上作業時間短縮
- 25年度末に1万人利用へ拡大、SI案件でもCopilot利用を標準化し「Copilot前提の開発」を推進

本研修メソッドを起点とした、弊社(IDS)の「AI仕様駆動開発」の標準化と工数約70%削減の実績

詳細

<p>導入前の課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> AIツール(ChatGPT等)は各SEが個人レベルで単体使用している状態 プロンプトスキルにより出力品質がバラバラで、組織適用が困難
<p>解決策</p>	<ul style="list-style-type: none"> 全社横断組織{AIDD-CoE}の設立 本研修を起点にAIをプロセスに組み込む推進体制を設立 開発標準の明文化とAI環境(Cursor)の連携 要件定義・設計・テストの各観点を標準ルール化 品質の均一化を図る多層チェック体制を構築 [AI自動生成]⇒[AI自動1次レビュー]⇒[人間による最終確認]
<p>成果</p>	<p>【実践事例: 某大手介護事業者様 予算作成システムプロジェクト】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概要: AWS SageMakerを活用し、過去実績を元にした独自の計算ロジックを組み込んだ「売上予測・予算作成システム」の構築 成果: AI仕様駆動開発(AIDD)を要件定義から結合テスト仕様作成まで適用 <p>手動開発と比較し 工数約70%削減 を実現</p>

事例:コンサルティング案件では実装工数の90%削減を実現

AI駆動開発による開発効率改善事例の紹介

概要

- 当社にてレガシー電子カルテシステムの保守開発案件を担当
- Cursorを組み込んだ開発ワークフローを構築し**90%の工数削減に成功**

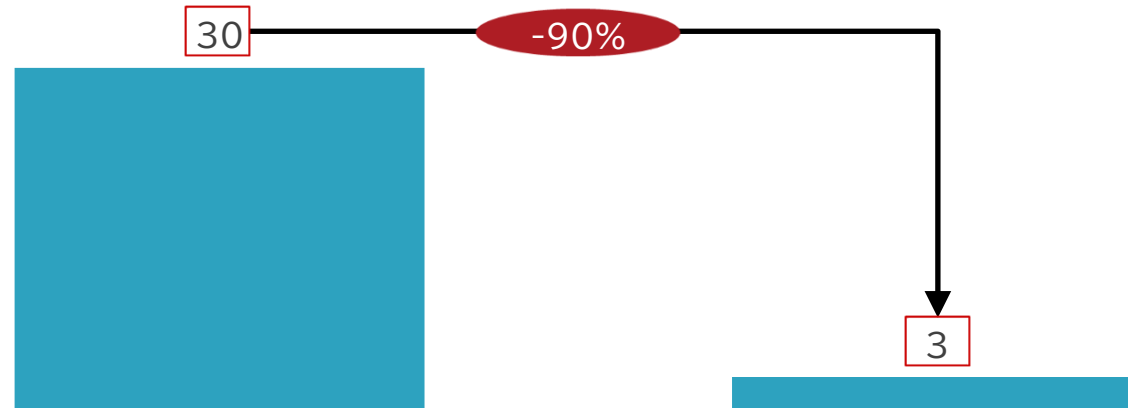
非AI駆動での実装

AI駆動での実装

(工数は見積もり)

(工数は実績)

工数比較
(単位:人日)



実装手法
詳細

- 外注実装者による手動実装
- 実装担当のコードベース理解:高

- AI駆動開発熟練者によるCursorを活用した実装
- 実装担当のコードベース理解:低

概要

開発プロセスにおいて効果的かつ安全に生成AIを活用するためには、CursorやGitHub CopilotなどのAI開発ツールを導入するだけでなく、「正しい使い方」を組織にインストールすることが必要

詳細

ハルシネーション
(幻覚)リスクの最小化

- 生成AIは原理上無謬性を担保できず、間違った答えを生成する可能性(ハルシネーション)
- AIへ渡す情報(コンテキスト)の制御、テストワークフローの設計を通してリスクを最小化する必要

挙動の制御

- 一般的な記述方法でのコードが生成される
- 各社/各プロジェクト独自のコーディング規約など、AIの挙動をコントロールするルールやコマンドを設計する必要

安全性の担保

- 安全性担保のためには情報流出や意図しない操作が発生しないような設定/使用方法を徹底する必要
- (適切な設定/使用方法の元では安全に使用することが可能)

観点	詳細
目的	<ol style="list-style-type: none">1. 貴社エンジニアの皆様へAI駆動開発の背景技術の仕組み、使い方、威力を、理解するだけでなく「体で覚えて」いただく2. 開発においてAIを効果的かつ安全に制御するノウハウを身につけていただく
対象者	貴社ソフトウェアエンジニア社員(必要スキルレベル:JavaScript初歩)
時間	<p>全5回各2時間の研修</p> <ul style="list-style-type: none">• 60-90分の講師によるレクチャー• 30分の参加者と講師によるハンズオンワークショップ• 2回目以降は冒頭にて30分参加者による2分/人程度での事前課題発表(課題対応は1時間程度で完了できる想定)
希望実施 フォーマット	<p>最大10人程度の少人数グループごとにオンサイトに実施</p> <ul style="list-style-type: none">• ハンズオン実施の際の受講者サポートの関係でオンサイトが望ましいが、オンラインでのご提供も可能• (ご相談)貴社会議室等の会場ご提供のお願い

構成	概要	次回に向けての課題
前半 (AIを使う)	1 生成AIとLLM <ul style="list-style-type: none">生成AIの仕組みプロンプトエンジニアリング手法解説と演習	プロンプトエンジニアリングテクニックの業務への応用
	2 AI駆動開発(基本) Cursorなどの開発支援AIを活用したシステム構築 効率化手法の解説と演習	Cursor Agentでの簡易システム構築 感想とチャレンジの共有
	3 AI駆動開発(実践) LLMと開発支援AIを活用した仕様策定、実装、テストまでの一連業務フロー解説と演習	現状担当案件でのAI駆動開発を行う場合の効果と障壁の検討と発表
後半 (AIを作る)	4 RAGシステム構築 Retrieval-Augmented Generation(検索拡張生成)の実装手順解説と演習	RAGシステムの事例調査
	5 AIエージェント構築 AIEージェント実装手順解説と演習	アンケート回答

構成	概要	次回に向けての課題
1 生成AIとLLM	<ul style="list-style-type: none">生成AIの定義/分類/仕組み/得手不得手活用テクニック (コンテキスト/プロンプト・エンジニアリング)	プロンプトエンジニアリングテクニックの業務への応用
2 AI駆動開発 (基本)	<ul style="list-style-type: none">GitHub Copilotの基本的な使い方エージェント機能を活用したシステム構築効率化手法演習ハンズオン	GitHub Copilotでの簡易システム構築と感想とチャレンジの共有
3 AI駆動開発 (発展)	<ul style="list-style-type: none">コンテキスト・エンジニアリングMCPや、軽量ツールリングを活用したAI駆動ワークフローの設計ハンズオン	AI向けツール作成によるエージェント機能拡張
4 AI駆動 プロジェクト推進	<ul style="list-style-type: none">GitHub Copilotを活用した仕様策定、実装、テストまでの一連業務フロー解説と演習ハンズオン	現状担当案件でのAI駆動開発を行う場合の効果と障壁の検討と発表
5 AI駆動開発 最新トピック	<ul style="list-style-type: none">AI駆動開発と関連性が高く、中長期にわたる影響が予想される最新トピックを紹介	アンケート回答

アイディーエス講師陣及びデリバリー体制

【体制概要】

本研修の各レクチャーセッションは、「統括兼アドバイザー1名」と「メイン講師1名」の2名体制で実施いたします。
現場エンジニア視点での技術的なレクチャーに加え、マネジメント視点での組織への導入・定着化に関するご相談にも対応可能な体制を整えております。

【講師陣プロフィール】

■ 統括兼アドバイザー(組織導入・運用サポート)

・芹澤 崇(ソリューション事業部長) / ・齋藤 開(AIDD推進チーム長)

自社での全社標準化を統括した経験をもとに、AI導入時のマネジメント課題や、現場へのルール策定に関するアドバイスを担います。

■ メイン講師陣(技術・実践サポート)

・小田巻 蓮 / ・近藤 寛朗 / ・角田 晃

略歴:IDS社内「AIDD推進チーム」の中核メンバーとして、Cursorを活用したAI仕様駆動開発手法の確立を担当。
得意領域・技術スタック:AWS環境構築、PHP、Python、およびCursorを活用したAI駆動ワークフローの設計。

【受講者の皆様へのメッセージ】

弊社アイディーエスにおきましても、AIツールの組織導入にあたっては様々な課題を経験いたしました。

本研修のメソッドを自社に適用し、試行錯誤を重ねることで「**全体工数の約70%削減**」という成果とプロセスの標準化を実現しています。私たちが現場で培ったAWSやWebシステム開発の実践的な知見を交え、皆様のAI活用開始と定着化に向けた取り組みをサポートいたします。

過去研修
実績概要

SES、SIer、パッケージベンダーへの研修実施実績あり
満足度評価は 4.83 / 5 (全5回参加者対象アンケート結果)

前回参加者のコメント抜粋

「AIについての基礎から、最新動向、活用方法について知ることが出来て、非常にためになりました。ありがとうございました！」

「RAGなど初めて聞く言葉が多く最初は追いつくのにギリギリだったが、自力で調べようとすると何から手を付けてよいか分からない状態だったので、非常に助かりました。今後もAIをフル活用して、楽できることはどんどん楽しんでいきたいと思うと同時に、何か簡単なものでもいいので作ってみたいとも感じられました。」

「生成AIを取り巻く環境や提供されているサービスについて、深く知ることができとても良かったです。」

詳細

費用と助成金

費用: 25万円(税別)/参加者 (助成金後負担は約5万円~10万円/人)

- ・助成金:「人材開発支援助成金 事業展開等リスキリング支援コース」
→約60~75%の経費補助
- ・加えて賃金助成(時給500~1,000円/人)も適用可能
(※就業時間中実施の場合のみ適用)
- ・登記上の役員は無料での「オブザーバー参加」歓迎
- ・必要有償参加者数:最低10名

助成金申請
に関して

- ・ 貴社より研修開始1ヶ月前までに研修計画届を労働局へ提出
- ・ 貴社より研修終了後2ヶ月以内に労働局へ支給申請書を提出し、
審査通過後に助成金受給
 - 支給申請から助成金着金まで6ヶ月程度
 - 労働局審査担当者:「要件が満たされていれば基本的に支給」

助成金受給に向けては申請書類の作成を含むプロセス全体をサポート差し上げる

助成金支給額決定の仕組み

費用補助:75%(中小企業)もしくは60%(非中小企業)支給
 賃金補助:1,000円/時間(中小企業)もしくは500円/時間(非中小企業)支給
 (ただし就業時間内の研修実施が必須)
 「中小企業」定義:資本金5000万円以下、もしくは常時雇用人数100人以下

助成金後負担額シミュレーション

	中小企業	非中小企業
就業時間内 実施	58,800円/参加者(税込) <ul style="list-style-type: none"> 費用助成: 206,200円 賃金助成: 10,000円 	105,000円/参加者(税込) <ul style="list-style-type: none"> 費用助成: 165,000円 賃金助成: 5,000円
就業時間外 実施 〔就業時間後〕 〔休日など〕	68,800円/参加者(税込) <ul style="list-style-type: none"> 費用助成: 206,200円 賃金助成: 0円 	110,000円/参加者(税込) <ul style="list-style-type: none"> 費用助成: 165,000円 賃金助成: 0円

Appendix

～研修プログラム監修者のご紹介～

自社サービス開発で培った最先端の生成AI知見を法人顧客へ提供することで「生成AIの力で一人当たりGDPを倍増させる」ことを目指す

株式会社中目黒技術研究所概要

会社名 株式会社
中目黒技術研究所

設立日 2021年8月23日

代表者 熊谷 匠

事業内容

- モバイルアプリ開発運営
- 法人向け生成AI関連事業

本社所在 東京都目黒区
上目黒2-41-14

法人向け生成AI関連事業

概要



生成AI研修
サービス

- ソフトウェアエンジニア向けに特化した生成AI研修を提供
- Sier、SES、ソフトウェアベンダー様向けにご提供実績多数
- 今回のご提案の範囲



生成AI
受託開発サービス

- AIエージェントやRAGシステムをはじめとした生成AIシステムの開発を受託
- チャットボットシステム、ニュースエージェントアプリなどの開発実績多数



生成AIコンサルティング
サービス

- 生成AIに関する戦略コンサルティングサービスを提供
- With-AIの企業戦略立案、AIワークフロー構築によるコスト削減、新規AIプロダクト戦略立案などの支援実績多数

詳細

<p>マネジメント スキル/経験</p>	<p>全社戦略策定、業務フロー分析及び設計、テクニカル/ノンテクニカルチーム構築 大規模開発仕様策定(人工知能関連等)</p>
<p>テクニカル スキル/ 経験</p>	<p>プログラミング 言語</p> <ul style="list-style-type: none"> 製品コード実装経験有り:TypeScript, HTML, CSS, Golang, PHP, Python, JavaScript, Solidity その他経験有り:Haskell, Clojure, Scala, Prolog, Erlang, Java, Elm, C++, C#
	<p>インフラ</p> <p>Amazon Web Services, Google Cloud Platform</p>
	<p>DB</p> <p>MySQL, Google Firestore(NoSQL)</p>
	<p>OS</p> <p>iOS, Android, RHEL, Centos, Mac, Windows</p>
	<p>ライブラリ等</p> <p>React, NextJS, Expo React Native</p>
	<p>サーバレス</p> <p>Google Cloud Functions, RunPod(サーバレスGPU)</p>
	<p>データ分析</p> <p>Google BigQuery, R</p>
	<p>AI開発</p> <p>LangChain(LLMでのRAG構築), Dify.ai, Stable Diffusion(画像生成)</p>
	<p>数学</p> <p>数理統計, バイズ統計, 機械学習数理等, 線形代数, 多変量解析等</p>

研修プログラム監修者紹介 (熊谷 匠)

	タイトル	活動内容
大学まで	学生	1986年生まれ東京都出身。私立麻布高校を卒業後、米Haverford College入学。大学3年時に英University of Oxfordへ留学後、Haverford College数学科を「優等」で卒業
ポストコンサルティング	アソシエイト コンサルタント	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業戦略立案、営業改革、業務最適化、組織再編、海外事業戦略策定のプロジェクトに従事 東京オフィスならびにニューヨークオフィスのプロジェクトに従事
Wharton School	MBA課程生 & 個人開発者	<ul style="list-style-type: none"> 経営学、数理統計理論、機械学習理論、関数型プログラミング理論等を研究 アプリ事業「まとめシリーズ」を開発運営
(株)ノベルバ	代表取締役 社長	<ul style="list-style-type: none"> 会社設立。小説投稿アプリ「ノベルバ」を開発運営 2018年に株式会社ビーグリー(証券コード:3981)へ会社売却
(株)ビーグリー	主力事業 統括部長	<ul style="list-style-type: none"> ノベルバ社吸収合併に伴いビーグリー社入社 ビーグリー社主力事業「まんが王国」事業統括部長を兼務(売上予算100億円) 全社戦略策定、データサイエンスチームの構築、全社KPI体系設計、DX推進(部門横断基幹業務の可視化と業務システム更改)、レコメンデーションエンジン刷新を推進
(株)中目黒 技術研究所	代表取締役 主席研究員	(前述のとおり)

E.O.F